



2021年8月11日

各 位

上場会社名 株式会社エフオン
代表者名 代表取締役 島崎 知 格
(コード番号：9514 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 小池 久 士
(TEL：03-5299-8521)

2021年6月期通期連結業績の予想値と実績の差異等に関するお知らせ

2020年8月12日に公表いたしました2021年6月期(2020年7月1日～2021年6月30日)の通期業績予想と、本日公表いたしました実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、当社は個別業績予想を開示しておりませんが、2021年6月期(2020年7月1日～2021年6月30日)の個別業績につきましても、前事業年度の実績値と差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績の予想値と実績の差異について

2021年6月期連結業績と予想値の差異(2020年7月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,500	3,000	2,700	2,000	92.44
当期実績(B)	13,144	2,584	2,397	1,673	77.35
増減額(B-A)	△1,356	△416	△303	△327	—
増減率(%)	△9.4	△13.9	△11.2	△16.4	—
(ご参考) 前期実績 (2020年6月期)	12,218	2,927	2,826	1,757	81.22

2. 通期連結業績と予想値の差異の理由

売上高の減少は、省エネルギー支援サービス事業の新規案件の受注及び電力事業の新規顧客獲得が苦戦し結果として翌期に持越しとなったこと、また、グリーンエネルギー事業において原木の販売が想定通り進捗しなかったことにより、当初想定した予想値を下回る結果となりました。

各利益については、売上高の減少による影響のほか、新設する新宮発電所を含めグリーンエネルギー事業の人員確保を進めたことによる人件費の増加、山林事業の大型設備の導入による減価償却費の増加等により全体として経費が増加し業績予想を下回る結果となりました。

3. 個別業績の前期実績との差異について

2021年6月期通期個別業績の前期業績値との差異（2020年7月1日～2021年6月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	6,010	1,251	1,227	56.73
当期実績 (B)	8,370	1,246	1,236	57.13
増減額 (B-A)	2,360	△5	9	
増減率 (%)	39.3	△0.4	0.7	

4. 個別業績の前期実績との差異の理由

売上高は、当社グループの発電所建設工事の工事進行基準売上高が想定よりも進捗したことによります。

各利益につきましては、ほぼ想定した数値となりました。

以 上